

あきる野市

平成16年(2004) 3月31日

第4号

# 町・自連会報

発行/平成16年 3月31日 発行者/青木旦治 編集/あきる野市町内会・自治会連合会

平成十四年四月末、第三期目のあきる野市町内会・自治会連合会が発足致し、連合会長に重責を担うことになりましたが、続く五月初旬の市民スポーツリレーション大会開催に向けての対応の中、その重大さを改めて思い知った次第です。

当時、正副会長会議のメンバーは、全員が新任で、町内会・自治会の壮々たる役員の方々ではあります、新鮮さを感じつつ、緊張した雰囲気の中で第一回の正副会長会議



## 町内会・自治会連合会の二年間を振り返って

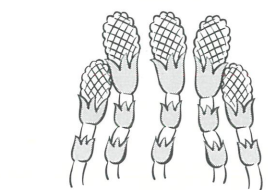
あきる野市町内会・自治会連合会  
会長 青木 旦治

が開催されました。

ここでは、町内会・自治会として、或いは連合会として当面の課題、問題点、そして前任連合会のまとめの中から引継ぎ指摘事項などを自由に発言して頂き、連合会の立場から優先課題を絞り込みました。その結果、①町内会・自治会と行政との事務手続きの効率化、②連合会組織の強化、③連合会会報の発行、の三本柱を取り組み課題といたしました。中でも連合会組織の強化は、①と②を効果的に遂行するために、必須の手段であり、役員会構成員全員が参加の、I・T部会と会報部会が発足しました。組織活動

この「市民性」は、「公共性」に近い意味があつて、一つの考え方として賛同できるものと思っておりますし、判断の規範になることも考えます。

あきる野市町内会・自治会



## パソコン講習会 報告

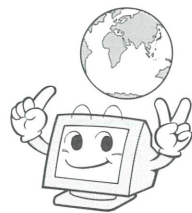
アンカーは東秋留地区パソコン講習会は、九月四日から東中学パソコン教室でスタートしました。

講師は中学の先生と仲間達、機器の取扱いからワード、エクセルで初歩の文章、表計算とグラフの作成、デジタル写真の貼付け、印刷まで、八回、十月三十日に終了しました。

参加者は6会場で150名、ノントラブルで終了することができました。

改めて市ならびに学校当局に御礼申し上げます。

(I・T部会)



講習はかなり急ピッチだったが意欲的で、お互いに教えあい和気あいあいの雰囲気は、大きな成果でもありました。補習希望もあったが今回はできませんでした。

I・T東秋留地区

## 視察研修と役員研修について

- 十月三十日 富士電機システム(株)日野工場、毎日の廃棄を新しいエネルギーに資源にバイオガス燃料電池発電システム視察
  - 十一月十一日 長野防災センター視察
  - 二月十二日 役員研修会
- 多くの人の前で話すためのプレゼンテーションの極意



長野市防災センターにて

## あきる野市町内会・自治会連合会役員協議事項

- 平成十五年
- 九月二十五日 十五年度連合会研修の件
  - 連合会日帰り研修について
  - 消火マニュアル配布の件
  - 十月二十二日 十一月度役員会の件
  - 十六年度連合会新年会の予定日について
  - ゴミ有料化・収集所撤去不可の件
  - 十一月二十七日 十六年度補助金一本化の件
  - ミニ研修会について
  - 五日市警察署管内区域変更の件
- 平成十六年
- 一月十四日 十六年連合会新年会役割分担
  - 連合会全体会開催について
  - 「まち・むら」自治会・町内
- 二月二十日
- 町内会・自治会全体会
  - 三月度役員会
  - 三月二十四日・役員会
  - 十六年度町内会・自治会総会の準備について
  - 十五年度決算の会計予測について
  - NHK「ご近所の底力」への第二回アンケートについて

町・自連会報第四号をお届けします。

本号では町内会・自治会連合会二年間を振り返って、前号までに紹介出来なかった地区の紹介と視察研修、I・T部会の活動などを取り上げました。

連合会は、八十六の町内会及び自治会からなり、地域によりそれぞれ様々な問題を抱え、その活動も異なることでもあります。多様化する地域住民の意志をまとめ、問題を解決していくという目的はひとつであると思います。

このことから、会報では、連合会のさまざまな情報を広く提供することにより、相互の情報交換の役割を果たし、町内会・自治会の活動が理解されるよう努めてきました。

会報部会も発足して二年を経過しようとしています。

今まで、会員皆様の意見を出来るだけ取り上げ、充実した紙面にするよう頑張ってきました。

今後ともご意見など宜しく願います。

(浦野)

## 編集後記



# 〈地区紹介〉

あきる野市内には、86の町内会・自治会で東秋留・西秋留・多西・増戸・五日市・戸倉・小宮地区連合会があり、今回は東秋留地区・西秋留地区・戸倉地区・小宮地区を紹介します。

## 〔東秋留地区町内会・自治会連合会〕

明治二十二年、二宮村、小川村、野辺村、雨間村、平沢村の五村が合併して東秋留村が誕生しました。昭和三十年に東秋留、西秋留、多西の三村が合併し秋多町となり、昭和三十四年(四月)には、秋多町の中心に位置する二宮三五〇番地に町役場が完成し開庁しました。そして、昭和四十七年五月五日市制施行により秋川市となり、更に、秋川市と五日市町が合併し平成七年九月一日にあきる野市になりました。

東秋留は、あきる野市の東に位置し、都心部からの玄関口となっています。生姜祭りや有名な二宮神社の鎮座する二宮町内会をはじめ、小川東町内会、小川

(町)、屋城(自)、秋川ハイツ(自)、二宮団地(自)、野辺(町)、秋留台(自)、平沢(町)、前田(自)、ホームタウン秋川(自)、雨間(町)、大塚(自)、緑の里(自)と十四町内会・自治会に発展致しました。昭和四十八年八月から始まり、昭和六十二年九月に完了した玉見ヶ崎土地画整理事業により小川東、二宮東、平沢東の新しい地名も生まれました。

また、その事業で多摩川に福生市との間に完成した陸橋は、陸橋通り(平成十三年四月二十七日)全線開通により市内の重要な交通路となっています。

また、雨間と二宮の一部を中心とした西秋留駅北口土地画整理事業(昭和五十七年七月～平成七年三月)により、秋

川一丁目から六丁目の地名ができ、最近では雨間画整理事業にて、秋留一丁目、五日目が誕生しました。JR五日市線の西秋留駅も秋川駅に改名(昭和六十二年四月一日)されました。その区画整理事業により、東急ストアが出店するなど市内の商業の中心街を形成するようになりました。

あきる野市誕生以来、念願であった市庁舎も旧庁舎の跡地である二宮の地に平成十三年五月七日開庁・執務開始し敷地も広くなるなど、利用しやすい市役所になりました。

(村野)

## 〔西秋留地区町内会・自治会連合会〕

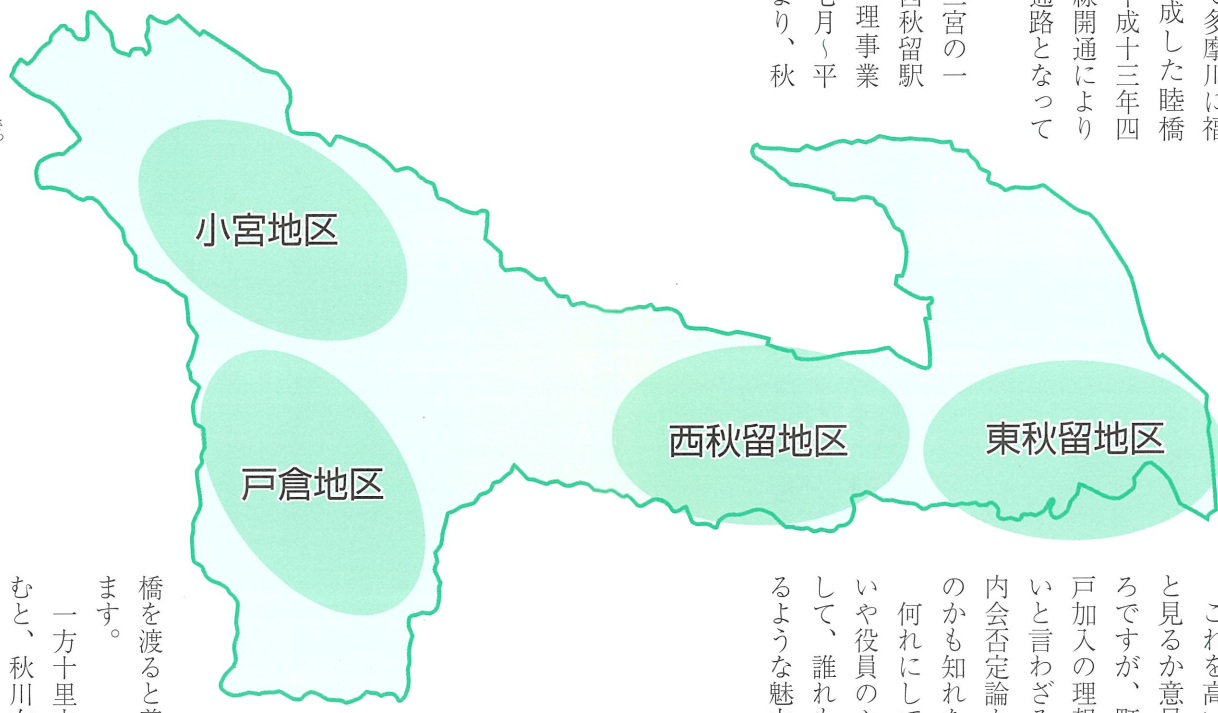
西秋留地区は、地域的にはJR五日市線の秋川駅と武蔵引田駅からなる、あきる野市の市街化地区のほぼ中央に位置しています。

町内会・自治会は地区の西方より上引田、中引田、下引田、測上、上代継、下代継、牛沼、油平本庁の各町内会と油平、富士見台自治会の八町内会、二自治会で構成されています。平成十六年一月現在の西秋留地区、字別世帯数は、四、九三四世帯で、その内、町内会・自治会の加入世帯数は三、二六五世帯、加入率は六六％です。

これを高いと見るか、低いと見るか意見の分かれるところですが、町内会肯定論の全戸加入の理想からすれば、低いと言わざるを得ないし、町内会否定論からすれば、高いのかも知れない。

何れにしても、価値観の違いや役員のやらされ感を克服して、誰れもが加入したくなるような魅力ある町内会・自治会づくりを目指したいと思います。

(天沼)



## 〔戸倉地区自治会連合会〕

戸倉地区は、秋川と支流の盆堀川に挟まれて、城山を囲むように盆堀、本郷(下宿・中宿・上宿)、西戸倉、坂十、秋川を挟んで星竹があり、これが現在の自治会を形成する集落です。「戸倉邑」の「戸倉」の起りについては、朝廷へ納める調布・大端紙等の物品を格納しておいた「屯倉」をこの地におき「富蔵」と称し転訛して「戸倉」というようになったと伝えられています。

城山は、後北条時代の戸倉城で、甲斐の武田氏への押さえである松原城との中継の役割を持った城であったが、天正十八年(一五九〇)八王子城落城で廃城となった。

戸倉地区には、それぞれ土産神があり、本郷下宿・中宿・上宿地区には、社伝によると天徳二年(九五八)伊豆国三島大明神を勧遷したものとわれ、多くの武将が崇敬した三島神社。西戸倉、星竹には神明社があり九月の嵐除

け獅子舞と西戸倉の棒使いは匠巻です。坂十には白山神社、盆堀には、小宮神社が鎮座されています。一方城山の麓にある光厳寺は、建武年間(一三三四、八)足利尊氏が創建されたと伝えられる名刹で、本尊釈迦如来、扁額、涅槃図は、有名です。

歴史の多い地区ですが、戸倉の区域は、調整区域で住宅の建つ条件は限られていると同時に「職と住」の関係で戸倉のうちに生活の城を持てない。過疎の要因と思われる。現在の世帯数は、二八八世帯で、ほぼ一〇〇％加入し、盆堀、本郷下宿、中宿、上宿、西戸倉、星竹、坂十、七つの自治会で、地域性を持った活動をしています。その一つは本郷下宿自治会の「ホテル」の養殖、小学校の体験学習「竹炭焼き」等も連携して行っています。

平成七年秋川・五日市の合併以来、戸倉地区歴代会長会でも自治会統合が話題となった経緯もあり、今回は、アンケートを実施し、会員各位の率直なご意見を踏まえて、戸倉地区の在り方を考える気運が期待されます。(土士田)

## 〔小宮地区自治会連合会〕

小宮地区は、あきる野市の最西端に位置し、背後に高明山、馬頭刈山が迫っています。

小宮地区の自治会連合会は六自治会の構成です。松原街道で十里木の信号を右に折れりと落合橋を渡ります。ここから落合自治会、寺岡自治会

自治会づくりが永遠の課題かも知れません。

西秋留地区会長会は、十人の会長が毎月定例の会合を開催しています。互選で代表、書記、会計の三役を置き、あきる野市や連合会からの報告連絡事項並びに自分達の抱えている問題などについて、忌憚のない意見交換をし、お互いに理解を深めています。

主なテーマには「残土規制条例」の不備、「ポートピアあきる野」の設置計画など、各種の問題について積極的に市に提言してきました。

現在の会長会には、小学生時代の同級生が三、四人います。当時、西秋留小学校が一枚だけだった、その名残のようです。そのせいか皆、意気投合し、和気藹藹の活動です。

役員にはそれぞれ任期がありますが、このような関係を将来に亘り継続し、誰れからも愛される魅力ある町内会・自治会づくりを目指したいと思います。

と続き、小宮小学校のある処が軍道自治会の区域です。なお都道を進み「秋川国際マス釣場」を過ぎ、曾利郷橋を渡ると養沢自治会になります。

一方十里木を松原方向に進むと、秋川右岸に長岳ケビン村(長岳温浴施設の開発拠点)が見え、乙津自治会の区域です。「ふるさと工房五日市」を過ぎると青木平自治会の区域です。

小宮村から五日市町↓あきる野市への合併の歴史があります。その度に少子高齢化、過疎化が進行したかに感じます。山間地ですから、かつては山林経営者、製材業者があり素晴らしい企業活動が成立し、多くの人たちが携わり生活をしてきた時代がありました。

「小宮村森林組合」が主流となって、この地域の森林木材、製材の激変極まりない歴史の渦中を突き進んできたと思えます。

今、長岳地区は「あるきたくなる街あきる野」の「温浴施設の拠点」となりました。地域住民は、地域活性化の素晴らしい起爆剤となる事を信じ真剣に取り組んでいます。

長岳の 梅凜として 春告げる (栗原)

